

ダウン症のある方々と共に創るプロジェクト「sweet factory」 第一回演劇公演 “ 継承～ the succession ～ ”



あらすじ

山奥の寺院。そこには日々修行を繰り返す一人の老僧がいた。名を劉老師。武とは暴力を止める力であり自分を律する心が無ければその力の向きを誤るもの。ただ一人の弟子であるシウロンに厳しく心を磨くことを教える。しかしシウロンは強さを求めて技に溺れ、ある日師に反目して寺を飛び出してしまふ。酷く落ち込む師匠はシウロンを探して人里に降りたつ。そこで出会う 3 人の若者。それぞれに個性が強く、半端者である若者たちによって傷ついた心を癒されていく老師。しかし、悲劇の波はそんな穏やかな寺をも巻き込んで大きなうねりを見せるのであった。老師から受け継がれる想いの襷 (たすき) は兄弟子から新たな師匠を経て一人の若者へと継承される。若者は想いを胸に、哀しみを拳に、今立ち上がる！

CAST

佐々木光一
鈴木一之
前田薫

藤田信宏

(演劇集団 INDIGO PLANTS)

桜田航成 / 人見早苗 (劇団 BRATS) / 宮崎重信

今村祈履 / 木村謙太

大岩主弥

井澤純 / 島田佳織 / 田中良 / 福森和浩 / 待寺優

他

公演日程

2015年7月29日(水)～
2015年8月02日(日)

7月29日(水) 19:00
7月30日(木) 19:00
7月31日(金) 19:00
8月01日(土) 17:00
8月02日(日) 14:00 全5回公演

<チケット>

一般発売日: 5月25日(月) 12:00～

料金: 前売/当日 共に全席自由 3,500円(税込)

<お問い合わせ>

株式会社エクシタン

メール予約: excitant@excitant.jp

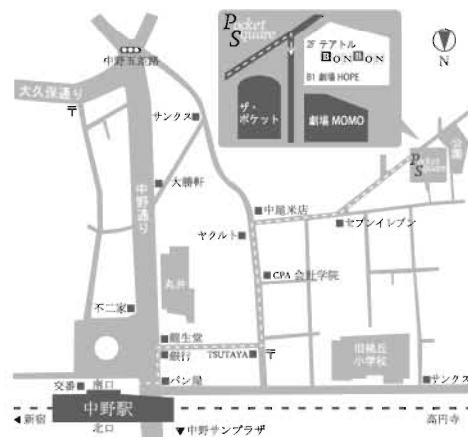
電話予約: 03-6455-3932 (受付時間: 平日12:00～18:00)

STAFF

- 作・演出: 町田誠也 (R:MIX)
- 演出補佐: 馬場巧
- アクション監督: 藤田信宏 (演劇集団 INDIGO PLANTS)
- アクション指導補佐: 人見早苗 (劇団 BRATS)、宮崎重信
- 楽曲制作: SHOGO、Micchiy(JMC)、千晴
- 舞台美術: 濱崎賢二
- 照明: 鈴木悟 (MOON LIGHT)
- 音響: 大庭隆之
- 音効操作: 宮本雅行
- 小道具: はってい
- 衣装: 丸富さくら
- 宣伝美術 & 写真撮影: curly_mads
- イラスト: <タイトル文字> 岡部亜美 (関東 LOVE JUNX)
<絵> 藤吉陽 (関西 LOVE JUNX)
- 舞台監督: 増山義雄、吉田倫貴
- チーフプロデューサー: 野村昌史
- スーパーバイザー: 馬場巧
- プロデューサー: 浅沼知子
- 制作: 富坂久美子、千晴、瀬戸山京子
- 企画・製作: 有限会社エレメンツ、株式会社エクシタン

- 後援: 公益財団法人日本ダウン症協会
- 協力: 演劇集団 INDIGO PLANTS
エン太極拳学舎
株式会社日本ナレーション演技研究所
劇団 BRATS
有限会社オフィスクロキ
LOVE JUNX
セイビン映像研究所
特定非営利活動法人トイボックス
牧野アンナ
石川鼓
Saekick
JUMPEI (JMC)
杉咲和彌 (オフィス カンナ・ビス)
なかふく
Micchiy (JMC)
有限会社ヴァーゴ・エンターテインメント
- 協賛: TONN DANCE SCHOOL
株式会社山野紙業
ニッポン印刷株式会社

劇場 テアトル B O N B O N 中野区中野 3-22-8



劇場口ビー 03-3383-3057(公演期間中のみ)
劇場事務所 03-3381-8422 ※チケットのお取扱はしておりません。
JR中央・総武線・東京メトロ東西線 中野駅南口より徒歩7分
※駐車場はございません。車、バイクでのご来場はご遠慮ください。

「sweet factory」とは…



「sweet factory」とは、エレメンツグループがダウン症のある方々と共に様々な活動を行うプロジェクトです。日本ダウン症協会主催イベントの総合演出やNPO法人トイボックスの劇団 LOVE JUNXの殺陣指導などを行ってきた中で、「表現することを楽しむ」「挑戦することを楽しむ」そんなことに、ただひたすら純粋に向かっていく彼らと接して、これこそが社会やエンタテインメントの純粋な原点なのだと教えられました。同時に、たとえ表現したいことや本気で向かっていきたいことが生まれたとしても『挑戦できる場』があまりにも少ないことも知りました。そうであれば私たちが可能性を広げられる挑戦の場を創ろう。自分の中の壁、社会との壁、偏見や思い込みの壁。全ての壁を超えて 全ての枠を超えて、さらなる挑戦の場所を創ろう。そう決心いたしました。このプロジェクト「sweet factory」は、私たちにとっても、挑戦する本人にとっても、そして参加される皆さまにとっても、未知なることへの挑戦となります。決して簡単ではありません。思い込んでいる「アタリマエ」が覆されることもあります。けれど、だからこそ。共に創り、共に伝えていくことに意味があると考えています。